

2021年4月25日

公益社団法人日本小児科医会
会長 神川 晃 殿

ポスター「HPVワクチンってなんでしたっけ？」の 訂正・回収等を求める要請書

薬害オンブズパースン会議

代表 鈴木 利 廣

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-14-4 AMビル 4階

電話 03(3350)0607 FAX03(5363)7080

e-mail yakugai@t3.rim.or.jp

<https://www.yakugai.gr.jp>

薬害オンブズパースン会議は、薬害防止を目的に 1997 年 6 月に発足した民間の医薬品監視団体です。

貴会は 2020 年 2 月 4 日付けで、ウェブサイトにて貴会の制作したポスター「HPV ワクチンってなんでしたっけ？」を公開し、オンラインでのダウンロードを呼びかけることでこのポスターを用いた広報活動を行っています¹。

このポスターでは「日本で毎年約 10000 人の若い女性が子宮頸がんを発症し、毎年約 3000 人が尊い命を落としています。」と記載されています。しかし、国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」によれば、2017 年の子宮頸がん罹患患者総数は 11012 人であり、うち 50 歳以上の患者が 6445 人です²。「毎年約 10000 人の若い女性が子宮頸がんを発症」との記載は重大な誤りです。

しかも、この重大な誤りに続けて「毎年約 3000 人が尊い命を落としています」と記載することは、あたかも若い女性が毎年 3000 人も死亡しているかのような誤認を招くおそれがあります。実際には当会議が指摘したとおり、2018 年の子宮頸がんでの死亡者のうち、40 歳未満の方は 137 人、50 歳未満でも 555 人であり³、子宮頸がんの死亡者数に関しても、貴会のポスターの表記が極めて不適切なものとなっていることは明らかなです。

こうした貴会のポスターの記載の重大な誤りについては、本年 4 月 20 日の参議院厚生労働委員会においても指摘されていますが⁴、本日の時点においても、なお、貴会は何らの訂正を加えることなく、貴会のウェブサイトにてこのポスターを公開し続けており、子宮頸がんについて正確な情報を提供すべき専門家団体としての職責を全く果たそうとしていないことは、極めて遺憾です。

しかも HPV ワクチンによる子宮頸がんそのものの予防効果やその持続期間について

は未だ実証されていないにも関わらず、貴会のポスターでは「若い女性の健康を脅かす子宮頸がんの発症を約 7 割予防します」との断定的な表現が用いられており、薬機法において医薬品の虚偽又は誇大な記事の広告・記述・流布が禁じられていること⁵への違反すら疑われるものとなっています。医療専門家団体である貴会がこうした誤った情報を流布したことで、他の団体やメディア等による誤った情報の社会への拡散が助長されたことは明らかです。

そこで当会議は、このポスターは直ちにウェブサイトから削除されるべきであり、配布されたものについて貴会の責任において回収するとともに、ポスター中に以上の事実誤認や不適切な記載があったことを明記してポスターの使用中止を呼びかける措置をとるべきであると考えます。

つきましては、本件に関する貴会のご対応について、2021 年 5 月 15 日をめどに文書をもってご回答下さいますようお願い致します。

以上

¹ <https://www.jpa-web.org/blog/uncategorized/a228> (2021/04/25 閲覧)

² https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/dl/index.html#incidence

³ <https://yakugai.hatenablog.jp/entry/2021/02/04/164932>

⁴ <https://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/detail.php?sid=6297>

⁵ 薬機法 66 条 1 項：何人も、医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器又は再生医療等製品の名称、製造方法、効能、効果又は性能に関して、明示的であると暗示的であるとを問わず、虚偽又は誇大な記事を広告し、記述し、又は流布してはならない。